

1 学期始業式のことば（令和 3 年 4 月 8 日）

みなさん、おはようございます。

私からは、新しい年度のはじめということで、江南北小学校の目標をお話しします。

今年、みなさんがさらに、やさしい子 かしこい子 たくましい子になるようにみんなで頑張ろうと先生たちで話し合いました。

「やさしい子」とはどんな子でしょうか。

校長先生は、お友達も、そして自分も大切にできる子だと思います。

お友達が嬉しく楽しく思えるように、自分も嬉しく楽しく思えるようにどうしたらいいかなと考えて、それを行動にうつせるのがやさしい子だと思います。

「かしこい子」とはどんな子でしょうか。

テストの点数が高い子。もちろんそれもありますが、それだけではありません。

先生が「何かをやりましょうね」といったときに、やりたいなとか、おもしろそうだなやってみようと思える気持ちがあることが大事です。

それを一生懸命にやることができるのが、かしこい子だと思います。

そしてそれを続けることで、ますますかしこい子になっていきます。

「たくましい子」とはどんな子でしょうか。

力が強い子。確かにそれはたくましいです。

風邪もひかない元気な子。それもたくましいです。

けれどたくましいとは体のことだけではありません。

心のことも関係しています。

上手くいかないときに、すぐにもう駄目だとあきらめたり、すねて放り出したりするのは、たくましいことではありません。

たくましいとは、くじけずあきらめない心のことも言っていて、健康な体と、強い心を持って初めてたくましいとなります。

皆さん、柳の枝を見たことがありますか？

しなやかに曲がっています。

だからすぐに折れるかなと思ったら、まさかまさか、柳の枝はなかなか折れません。

しなやかで、でも強いのです。

たくましさとはそういうことなのかなと思います。

そしてたくましさをもつ子は、実は、かしこくもなれるし、やさしくもなれます。

だから校長先生は皆さんにたくましさをたくさんもってほしいと考えています。

そのためのヒントとして、

皆さんに一冊の本をご紹介します。

「失敗図鑑」

表紙には、「すごい人ほどダメだった」とあります。

この本には、夏目漱石、ベートーベン、手塚治虫、ピカソというとても有名な人の失敗談がいくつも紹介してあります。

とても読みやすいのでお勧めします。

これを読むと、「失敗は成功のもとだ、いいんだ、頑張ろう」と元気をもらえます。

その元気をもとに、やさしく、かしこく、たくましくを合言葉に今年の1年間、過ごしてほしいなと思っています。